

GP-396 ひび割れ注入施工手順

① ひびわれ調査

ひびわれの有無、状況、位置等を目視、双眼鏡等により確認
ひびわれ分布状態も同時調査する

② 下地処理

ひびわれ周辺のコリ、油汚れ、塗膜などを取り除き
健全な面を出し乾燥していることを確認する

③ 注入位置の決定

できるだけ等間隔で注入しやすい箇所を選ぶ
注入ピッチは、ひびわれ巾やコンクリート厚により異なるので
設計者や施工者の判断によるものとする

④ 台座取り付け

台座用接着剤の配合比と可使用時間に注意し全体を均一に混ぜる
1回の計量は可使用時間内に使い切る量とする
接着剤は台座の中心穴をふさがないようにドーナツ状に塗布する
台座の中心とひびわれを合わせ接着剤が注入孔をふさがないように取付け固定する

⑤ 漏れ止め処理工

液漏れしないように確実にシールもしくはフィラーを塗布する
特に台座周りや枝分かれしているひびわれの末端・細部にも入念に塗布する
貫通しているひびわれには裏面もシールする
ピンホール(泡)がある場合は上から再塗布する
材料の硬化確認後注入を開始する

⑥ 注入材 (GP-396) 準備

- (1) 気温と材料の可使用時間を確認する
- (2) パウダー (1 kg) と混和液 (0.8 kg) を容器に入れる
- (3) 1分以上ハンドミキサーを用いて全体を均一に攪拌する
- (4) 容器の底の隅は混合しにくいので特に気を付ける
- (5) 性能を安定させるため攪拌後5分必ず置いておく
- (6) キャブコンに注入材を満杯に入れキャップをしっかり閉めた後、本体に取付ける

⑦ 注入開始

⑤の本体を台座に取付け、バネをゆるやかに解除し、エア抜きを行いながら注入する

⑧ 注入状況の確認

シール等から液漏れが無い事を確認

注入が完了するまで、キャプコンの中の注入剤が空にならないように補充を繰り返す

⑨ 注入完了

バネが動かなくなると注入は完了

⑩ 養生

キャプコンに注入剤が十分残っている状態でバネの圧力をかけたまま

衝撃や振動を与えないように養生する

養生時間は注入剤の硬化時間を確認する

⑪ 撤去

注入剤が完全に硬化したことを確認してから撤去する

台座用接着剤は熱風機で温めると軟化し取り除きやすくなる

⑫ 仕上げ・清掃

⑬ 完了